

2025年度第1四半期 決算概要

2025年8月1日

1Q決算ハイライト -----	2	有価証券-----	14
P/L -----	3	調達-----	15
損益の概要①②-----	3	参考：運用・調達構造と円金利上昇影響（単体ベース）-----	16
セグメント別実績-----	5	自己資本比率 -----	17
－ 投資銀行ユニット－		参考：自己資本比率（2025年3月末）-----	17
－ GMOあおぞらネット銀行（GANB）－			
－ 市場国際ユニット・カスタマーリレーションユニット－		グループ会社 -----	18
資金利益-----	8	GMOあおぞらネット銀行（GANB）-----	18
非資金利益・株式等関係損益・持分法投資損益-----	9	参考：当行および主要連結子会社等の実績・連単差-----	19
B/S -----	10		
バランスシートの概要-----	10		
貸出　－ 国内向け-----	11		
貸出　－ 海外向け-----	12		
アセットクオリティ-----	13		

（注）本資料においては、「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社株主純利益」と記載しています。金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。
また、本資料において「第1四半期」「1Q」の記載は4-6月期、「第2四半期」「2Q」は7-9月期、「中間期」「1H」は4-9月期、「第3四半期」「3Q」は10-12月期、「第4四半期」「4Q」は1-3月期を示しています。

1Q決算ハイライト

- ◆ 活況な国内M&Aマーケットを背景に、中期経営計画「AOZORA2027」の順調な滑り出しとなる実績
- ◆ 国内ビジネスアセット^{*1}は、投資銀行ビジネスを中心に2025年3月末比約1,200億円増加

連結粗利益
238 億円

前年同期比+30億円 進捗率 25%

ビジネス利益^{*2}
91 億円

前年同期比+20億円 進捗率 26%

親会社株主純利益
63 億円

前年同期比-12億円 進捗率 29%

*1 ビジネスアセット：貸出・有価証券の合計（政府向け貸出、国債等を除く）

*2 ビジネス利益：連結実質業務純益+株式等関係損益等（株式等関係損益等＝株式等関係損益+株式派生商品損益等）

前期の子会社清算に伴う一過性
要因を除くと**11億円の増益**

ビジネスアップデート

投資銀行ビジネス

- ・ LBOファイナンス等が順調に進捗。貸出関連手数料や組合出資損益等の非資金利益は拡大
- ・ 大和証券グループとの提携効果もあり、コーポレートローンを中心に国内貸出残高は順調に伸長

GMOあおぞらネット銀行

- ・ 法人口座数は20万件超、預金残高は1兆円超を達成。手数料収益が順調に推移し、1Qは当期純利益黒字を達成

「AOZORA2027」KPIの進捗

	親会社株主純利益	ROE	CET1比率	ビジネスアセット	大和証券Gとの提携効果 (業務純益ベース)
2025年度1Q実績	63億円/220億円	5.6%	(8月中旬開示予定)	4.5兆円	(中間期決算にて開示予定)
2027年度計画	330億円	7%程度	8%以上	5.5兆円	+100億円

第1四半期配当

22円/株 (前年同期比+3円)

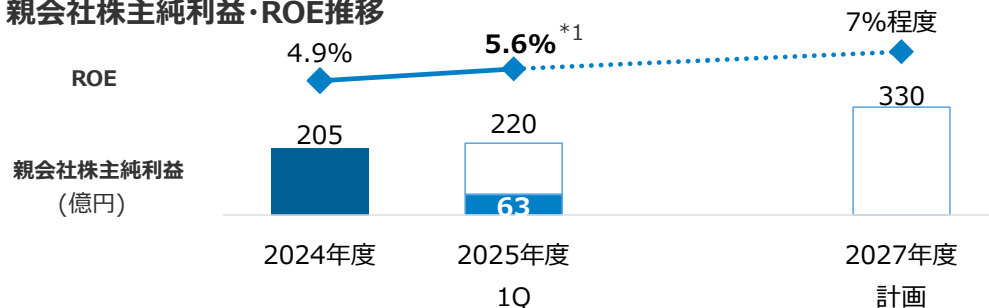
年間配当予想：88円/株（前年度実績比+9円）

(単位：億円)	2024年度 1Q A	2025年度 1Q B	増減 B - A	2025年度 業績予想	進捗率
連結粗利益 ①	207	238	+30	950	25.1%
資金利益	120	116	-4		
非資金利益	86	121	+35		
経費	-149	-157	-7		
持分法投資損益	7	5	-2		
連結実質業務純益 ②	64	86	+21	320	26.9%
与信関連費用 ③	-13	-11	+2		
株式等関係損益	7	6	-0		
経常利益	58	80	+21	300	26.7%
特別損益	34	-0	-34		
税金等調整前当期純利益	93	80	-12		
法人税等	-20	-16	+4		
非支配株主純損益	2	-0	-3		
親会社株主純利益	75	63	-12	220	28.8%
親会社株主純利益 (前期一過性要因除く) ④	52	63	+11		

<参考>

		2025年度 計画	
ビジネス利益 ②	71	91	+20
		350	26.2%

親会社株主純利益・ROE推移



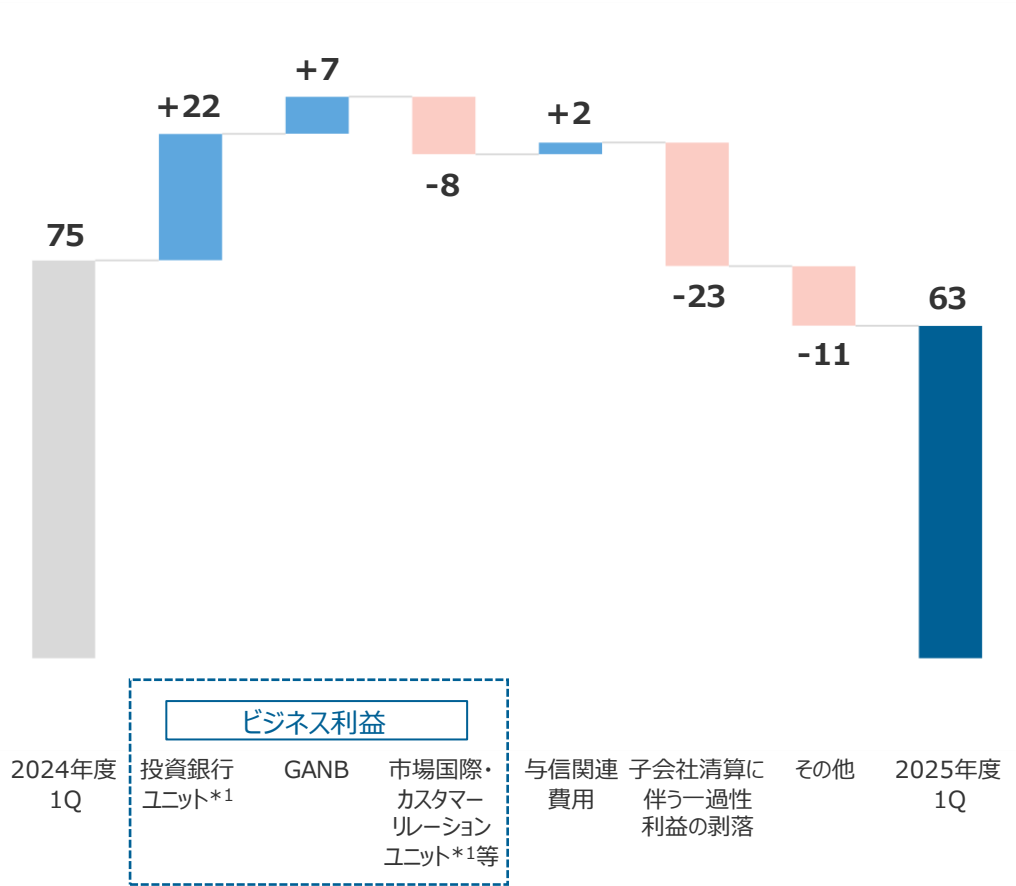
中期経営計画初年度は順調な滑り出し

- ① 連結粗利益：投資銀行ビジネスを中心に非資金利益が順調に拡大し、今年度計画に即した進捗
- ② 連結実質業務純益／ビジネス利益：ビジネスの順調な進捗に加え、経費のコントロールもあり計画を上回る進捗
 - 経費は、人的資本への投資は継続しつつ、期初予想対比24%の進捗
- ③ 与信関連費用：米国オフィス向けローンにかかるワークアウトが着実に進捗し、追加費用は限定的
- ④ 親会社株主純利益：前年同期に含まれる一過性要因^{*2}を除いたベースで11億円の増益、計画を上回る進捗

*1 年換算ベース

*2 海外子会社清算にかかる為替差益（特別利益に計上）、税金費用ネット後で23億円

親会社株主純利益の主な増減要因（2024年度 1Q vs 2025年度 1Q）
（億円）



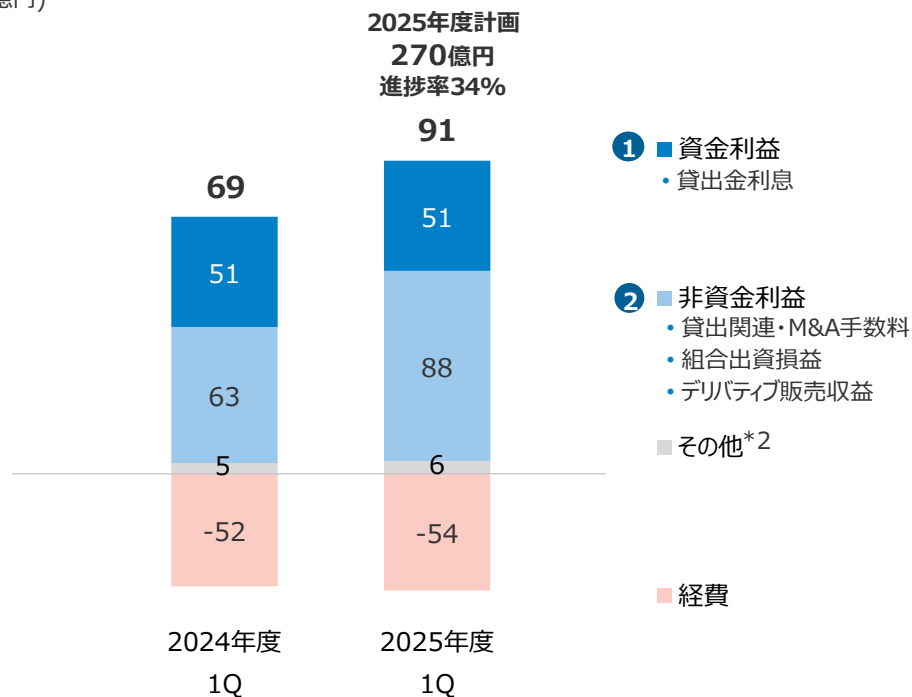
セグメント別ビジネス利益*2

(単位：億円)	2024年度 1Q A	2025年度 1Q B	増減 B - A	2025年度 計画	進捗率
投資銀行ユニット	69	91	+22	270	34%
市場国際ユニット	39	27	-11	104	26%
カスタマー リレーションユニット	6	1	-4	3	33%
GMOあおぞら ネット銀行	-5	1	+7	-	-
その他	-38	-31	+7	-	-
合計	71	91	+20	350	26%

*1 「AOZORA2027」より、ビジネスグループを「投資銀行ユニット」「市場国際ユニット」「カスタマーリレーションユニット」の3つのユニットに再編
*2 管理会計ベース。「その他」にはユニットに含まれない損益（各ユニットに未配賦の経費等）および純投資株式の売却益、調達貢献にかかる収益の調整を含む

投資銀行ユニットのビジネス利益内訳

(億円)



投資銀行ユニットの 主なビジネス

- ◆ LBOファイナンス ◆
- ◆ 環境ファイナンス ◆
- ◆ 不動産ファイナンス ◆
- ◆ 再生ファイナンス ◆
- ◆ 国内コーポレートビジネス ◆
- ◆ M&A・事業承継ビジネス ◆
- ◆ ベンチャーデット ◆
- ◆ エンゲージメント投資 ◆

◆ …大和証券グループとの協業分野

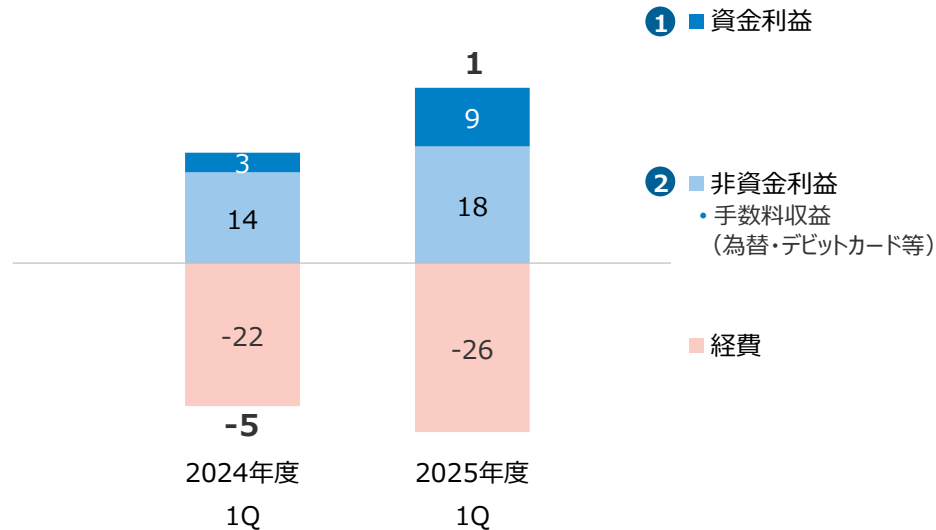
投資銀行ビジネスを中心に非資金利益が大きく伸長。 今年度計画対比34%の進捗

- ① 大和証券グループとの提携効果を含めたコーポレートローンや、LBOファイナンス等の拡大により、国内貸出残高は順調に増加
- ② - LBOファイナンス案件を中心とした貸出関連手数料に加え、M&A手数料、デリバティブ販売収益が順調に進捗
- 不良債権関連・バイアウト関連のエグジット収益（組合出資損益）の伸びが増益を牽引

*1 管理会計ベース

*2 その他には「株式等関係損益等」および「調達貢献」等を含む。2025年度より、「AOZORA2027」における成長の基盤である資金調達業務に対する貢献度合いを収益換算した、「調達貢献」実績を各ユニットに追加（2024年度分も遡及修正）

GMOあおぞらネット銀行のビジネス利益内訳 (億円)



GMOあおぞらネット銀行の 主なビジネス

- ◆ 為替
- ◆ デビットカード
- ◆ ローン
- ◆ BaaS

1Q当期純利益の黒字化を達成。今年度後半に向けて更に増益基調を維持

- ① 法人預金を中心とした預金量増加に伴い、運用益（日銀預け金利息等）が拡大し、資金利益が増加
- ② ベースビジネス（為替、デビットカード等）は順調に推移。BaaS（組込型金融）も着実に収益化

「BaaS by GMOあおぞら」の取組みが拡大

銀行であるお客さまにサービス・機能を「BaaS」により提供する先進的な取り組みを実現

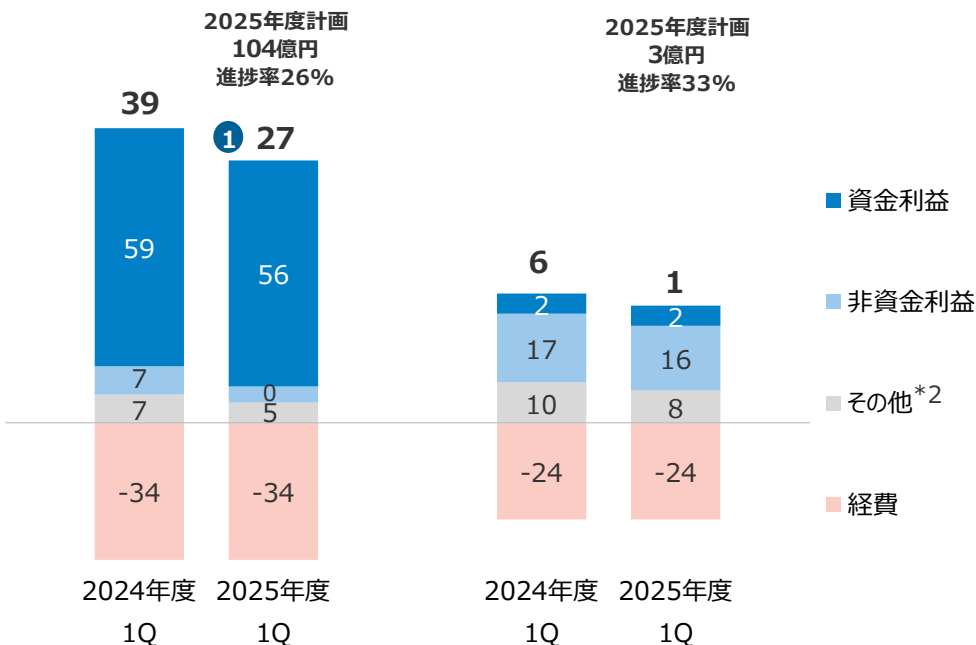
株式会社池田泉州ホールディングス100%子会社 O 1 銀行様へBaaS提供。2025年7月に開業

ラクスルバンク株式会社様と提携し、中小企業向け金融プラットフォームを2025年内に提供開始へ

中小企業の成長を後押しする「振込手数料最安級・還元2%（一部除く）」の銀行サービス「ラクスルバンク」

* 管理会計ベース

市場国際ユニット・カスタマーリレーションユニットのビジネス利益内訳 (億円)



アセットを機動的に入れ替えながら一定の利益水準を維持

- 市場国際ユニット全体では26%の進捗
 - ALM・有価証券：レガシー資産（外貨有価証券）にかかるネガティブキャリーは残存するも、金利上昇による円貨ALM資金利益は改善
 - 海外向けローン：北米コーポレートローンはマーケットのスプレッドタイト化が進む中、高いクオリティを維持。米国オフィス向けローンは、ワークアウト進捗に伴い残高は着実に減少
- 金融法人ビジネス：ALMソリューション部を新設。LBOファイナンスや環境ファイナンス等にかかる資産流動化ビジネス拡充に向け、地域金融機関等投資家へのディストリビューション力強化、投資家のニーズに応じた商品開発・組成を推進

1 市場国際ユニットの主なビジネス

- ALM・有価証券
- 海外コーポレートローン（北米・欧州）
- 海外不動産ノンリコースローン（北米）

カスタマーリレーションユニットの主なビジネス

- 金融法人ビジネス②
(金融法人ネットワーク・資産流動化ビジネス)
- 個人営業ビジネス◆
(預金・資産管理型ビジネス)

◆ …大和証券グループとの協業分野

*1 管理会計ベース

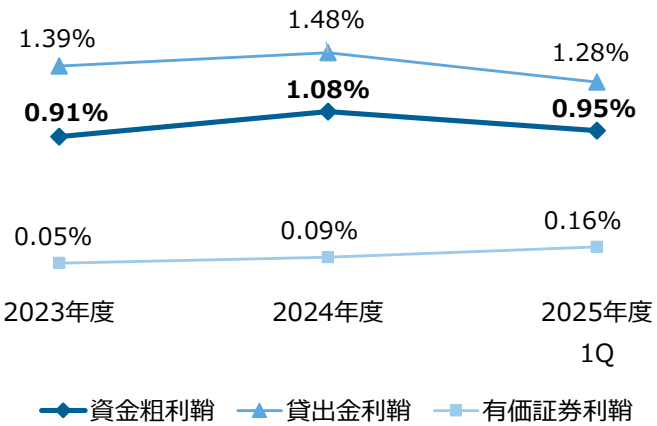
*2 その他には「持分法投資損益」、「株式等関係損益等」および「調達貢献」等を含む。2025年度より、「AOZORA2027」における成長の基盤である資金調達業務に対する貢献度合いを収益換算した「調達貢献」実績を各ユニットに追加（2024年度分も遡及修正）

(単位：億円)	2024年度 1Q A	2025年度 1Q B	増減 B - A
資金利益	120	116	-4
国内	45	① 60	+14
海外	74	② 55	-19
資金運用収益	414	385	-29
うち、貸出金利息	339	292	-47
うち、有価証券利息配当金	51	59	+8
資金調達費用	-293	-269	+24
うち、預金・譲渡性預金利息	-30	-68	-37
うち、レボ利息等	-41	-40	+1
うち、スワップ支払利息	-198	-135	+63

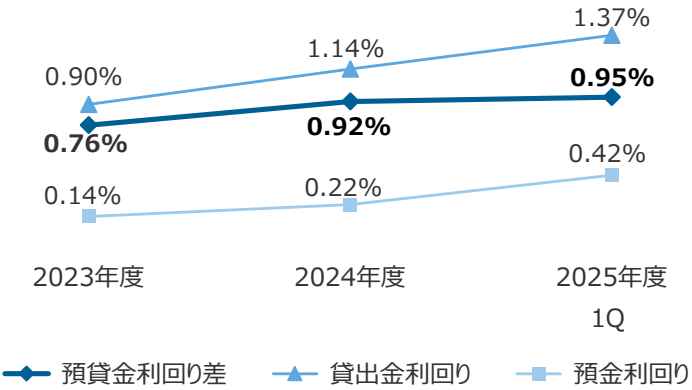
資金利益は116億円と前年同期比ほぼ横ばい、うち国内資金利益は増加基調を維持

- 1 国内は前年同期比14億円増加
 - 政策金利引き上げにより、利回りは運用・調達とも上昇。預貸金利回り差は拡大傾向を維持
 - 国内貸出残高（政府向け除く）増加、日銀預け金利息増加等により、国内資金利益は増加
- 2 海外は前年同期比19億円減少
 - 外貨調達コストは低クーポン社債償還のマイナス影響があったものの、全体としては米国金利低下等により減少
 - 海外貸出残高減少を主因に運用益の減少幅が大きく、海外資金利益は減少

資金粗利鞘・貸出金利鞘・有価証券利鞘推移



国内預貸金利回り差



(単位：億円)	2024年度 1Q A	2025年度 1Q B	増減 B - A
非資金利益	86	121	+35
役務取引等利益	56	66	+10
うち、貸出関連手数料	24	25	+1
うち、GANB手数料	13	18	+4
うち、投資信託関連利益	10	11	+0
特定取引利益	12	2	-10
その他業務利益	17	53	+35
うち、国債等債券損益	17	10	-6
うち、組合出資損益*	20	40	+19
不動産/不良債権関連	15	14	-0
バイアウト/ベンチャー関連	-3	19	+23
その他	8	5	-3
株式等関係損益	7	6	-0
うち、エクイティ投資関連	7	6	-0
持分法投資損益	7	5	-2

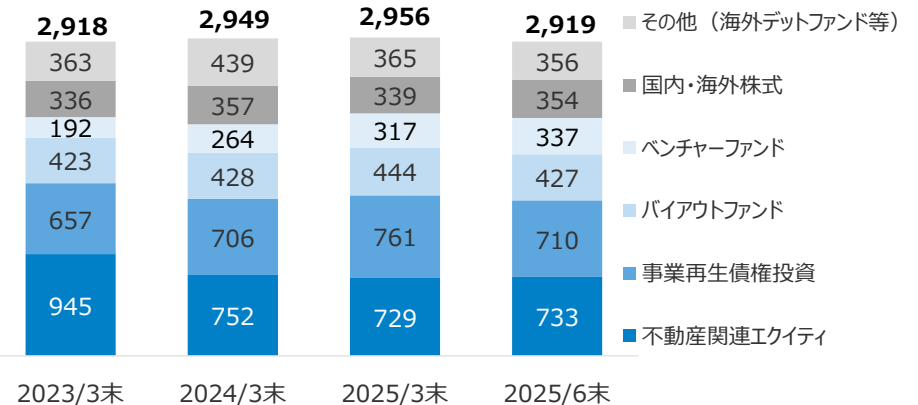
* 2024年度4Q決算より、あおぞら債権回収の一部損益を含むベースでの開示に変更
(2023年度実績まで遡及して修正)

OCBの1-3月期分の15%
(のれん償却含む)を当行
2025年度1Q決算の持分
法投資損益に取込み

非資金利益は、前年同期比35億円増加

- 1 堅調な貸出関連手数料、GMOあおぞらネット銀行におけるベース
ビジネス（為替、デビットカード）の拡大等により前年同期比増益
- 2 不良債権関連・バイアウト関連のエグジットにより好調に推移

<参考> エクイティ投資にかかる資産残高* (億円)



* 管理会計ベース、時価評価後。なお、実現損益は、組合出資損益、株式等関係損益、有価証券利息
配当金等に計上

持分法適用関連会社（ベトナム）

—Orient Commercial Joint Stock Bank—



(単位：億円)	2024年 1-3月期 A	2025年 1-3月期 B	増減 B - A
当期利益*	57	42	-14

* 為替レートは1ベトナムドン=0.0060円を使用

総資産 7.8兆円

2025/3末比

+1,169億円

貸出金

4.0兆円

-1,210億円

国内	2.8兆円
海外 (海外比率)	1.2兆円 (30%)

有価証券

1.3兆円

+27億円

その他

(流動性準備資産等)

2.4兆円

+2,352億円

預金
(譲渡性預金含む)

5.7兆円

+1,032億円

その他

1.6兆円

+55億円

純資産

0.4兆円

+82億円

ビジネスアセット

※貸出・有価証券の合計
(政府向け貸出、国債等を除く)

AOZORA2027

ビジネスアセット

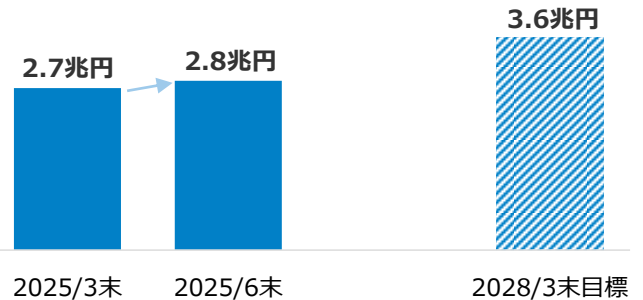
2025/3末
4.5兆円

2025/6末
4.5兆円

2028/3末計画
5.5兆円

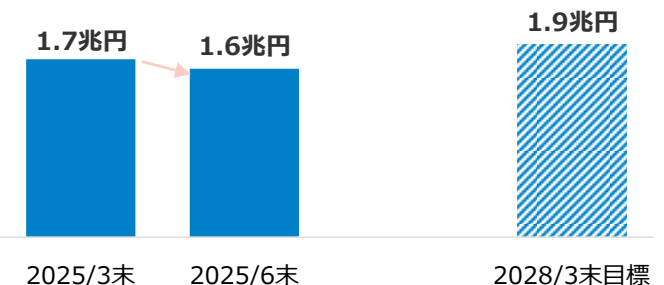
国内ビジネス
アセット

2025/3末比約1,200億円増加し、
中計に沿った進捗

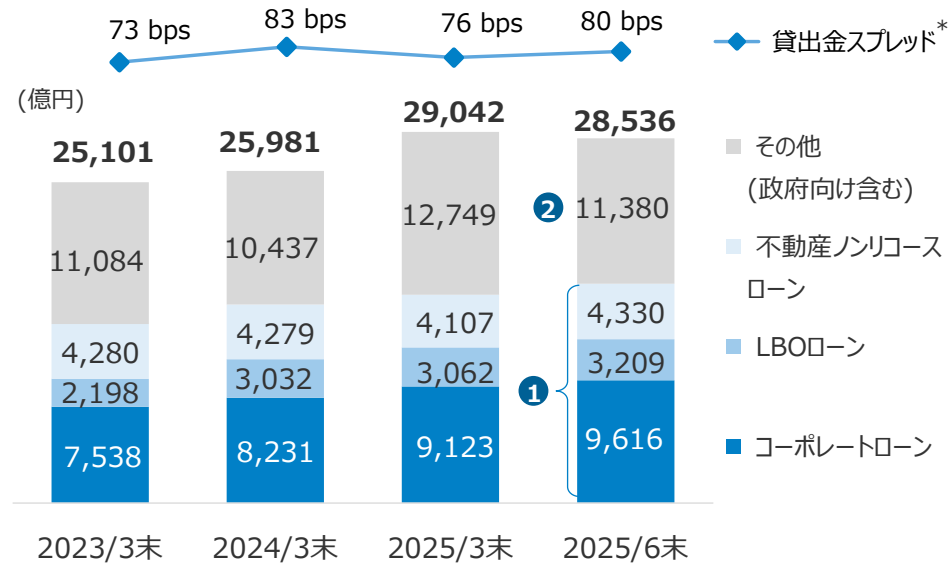


海外ビジネス
アセット

米国オフィス向け残高減少および円高
の影響により約1,000億円減少



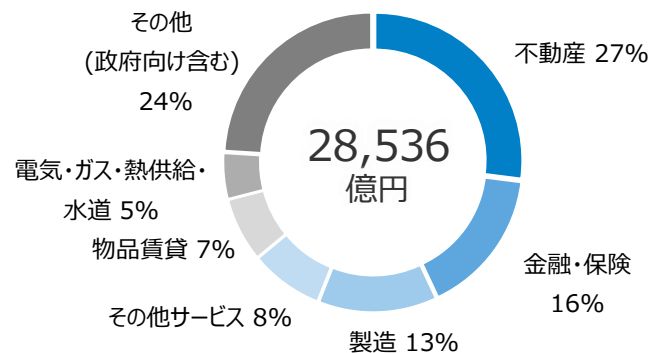
国内貸出残高内訳・貸出金スプレッド*



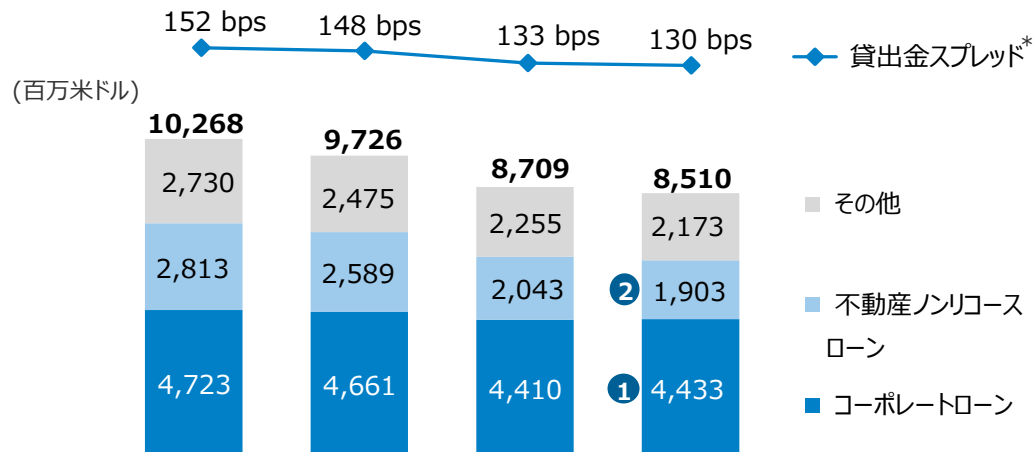
* 貸出金スプレッドは単体ベース、行内管理ベース、開示債権を除く

- 1 投資銀行ユニットにおける、大和証券グループとの提携効果を含めたコーポレートローンやLBOファイナンス、不動産ノンリコースローンは増加
- 2 政府向け案件を中心に減少

国内貸出業種別内訳



海外貸出残高内訳・貸出金スプレッド*

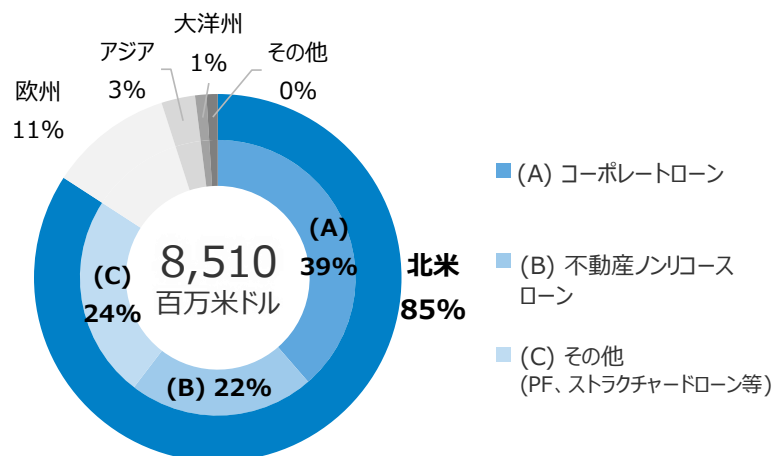


- 1 コーポレートローンは、クオリティを維持した運営を継続、ドルベースでの残高は横ばい（円高の影響により円ベースでは減少）
- 2 不動産ノンリコースローンは、米国オフィス向けローンのワークアウトを中心に引き続き回収が進む

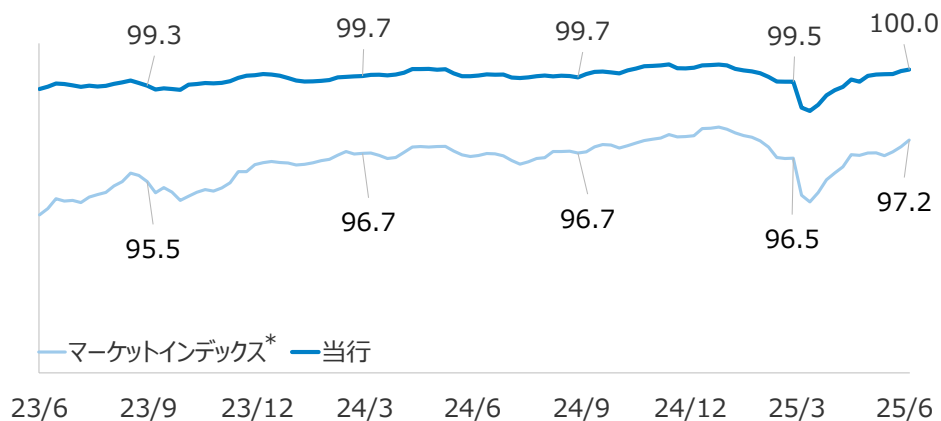
2023/3末	2024/3末	2025/3末	2025/6末	
13,711	14,731	13,022	12,317	円建て残高合計（億円）
35%	36%	31%	30%	海外比率
¥133.54	¥151.46	¥149.53	¥144.74	為替レート（US\$/¥）

* 貸出金スプレッドは単体ベース、行内管理ベース、開示債権を除く。また非ヘッジの為替フォワードを含めて算定

海外貸出地域別内訳



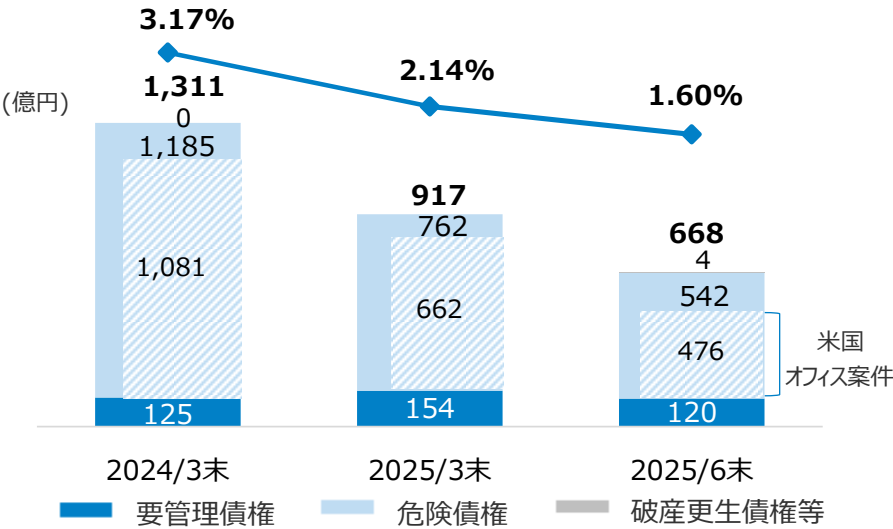
参考：平均ビッドプライス推移 — 北米コーポレートローン —



* 出典：PitchBook Data, Inc.

金融再生法開示債権

開示債権比率*



* 総与信に占める開示債権の割合

与信関連費用

(単位：億円)

	2024年度 1Q A	2025年 1Q B	増減 B - A
与信関連費用	-13	-11	+2
個別貸倒引当金等 ^{*1}	-5	-60	-55
一般貸倒引当金等 ^{*2}	-8	48	+57
<参考>			
米国オフィス向けローン	-18	-11	+7
上記以外	4	-0	-5

*1 個別貸倒引当金、貸出金償却、債権売却損益等、償却債権取立益を含む

*2 一般貸倒引当金、オフバランス取引信用リスク引当金を含む

1Qでは破綻懸念先数は4先、
残高は113百万米ドル減少

米国オフィス向けローンの状況

(単位：百万米ドル)	2023年12月末				2024年3月末				2025年3月末				2025年6月末			
	残高	引当額	引当率*	先数	残高	引当額	引当率*	先数	残高	引当額	引当率*	先数	残高	引当額	引当率*	先数
LTV90%未満	1,082	23	2.2%	24	785	22	2.8%	20	762	16	2.2%	19	731	23	3.2%	18
LTV90～100%	92	12	13.8%	2	386	40	10.4%	6	232	31	13.5%	4	252	31	12.5%	5
LTV100%超 (破綻懸念先)	719	320	44.5%	21	714	310	43.5%	21	442	187	42.3%	14	329	130	39.6%	10
合計	1,893	357	18.8%	47	1,886	373	19.7%	47	1,437	235	16.3%	37	1,313	185	14.1%	33

* 総与信ベース

	貸借対照表計上額			
	2024年 3月末	2025年 3月末 A	2025年 6月末 B	増減 B - A
(単位：億円)				
国債	525	1,285	1,487	+201
地方債	290	337	346	+9
社債・短期社債	1,075	1,031	1,092	+61
株式	311	299	321	+21
外国債券	4,939	5,709	5,591	-117
外国国債	2,626	3,473	3,494	+21
モーゲージ債	992	917	867	-49
その他	1,320	1,319	1,229	-89
其他有価証券	4,723	4,890	4,742	-148
ETF	599	649	649	-0
組合出資	1,814	1,830	1,808	-22
REIT	351	330	338	+7
投資信託	1,539	1,625	1,513	-112
その他	417	454	432	-21
合計	11,865	13,554	13,582	+27
為替レート (US\$/¥)	¥151.46	¥149.53	¥144.74	¥-4.79

ヘッジ手段の評価損益を含めた有価証券評価損益	-511	-507	-442	+64
------------------------	------	------	------	-----

うち、レガシー資産

(単位：原通貨 百万)			
米国国債	US\$ 1,150	1,150	1,150
欧州国債	EUR 350	315	315
モーゲージ債	US\$ 823	767	753
クレジットETF (投資適格社債)	US\$ 465	465	465
上記合計*	-647	-566	-546

評価損益			
2024年 3月末	2025年 3月末 C	2025年 6月末 D	増減 D - C
-21	-48	-46	+1
-2	-7	-5	+1
-4	-11	-7	+4
147	125	143	+17
-606	-496	-438	+58
-321	-246	-206	+39
-286	-260	-251	+9
1	10	19	+8
-100	-107	-105	+2
-104	-105	-93	+11
10	20	16	-4
35	26	28	+2
-47	-51	-57	-6
5	1	0	-0
-587	-545	-459	+85

-511	-507	-442	+64
------	------	------	-----

(単位：億円)		
-110	-95	-86
-91	-64	-63
-307	-272	-267
-136	-134	-128
-647	-566	-546

債券デュレーション (単体ベース)		
2024年 3月末	2025年 3月末	2025年 6月末
国債	7年	7年
長期国債	16年	11年
短期国債	0.2年	0.2年
地方債	4年	5年
米国国債	5年	4年
モーゲージ債	7年	8年

市場リスクの状況（10BPV）			
	2024年 3月末	2025年 3月末	2025年 6月末
（単位：億円）			
ALM証券投資	+0	-10	-13
うち、米金利リスク	+0	-6	-7
うち、円金利リスク	+0	-5	-5

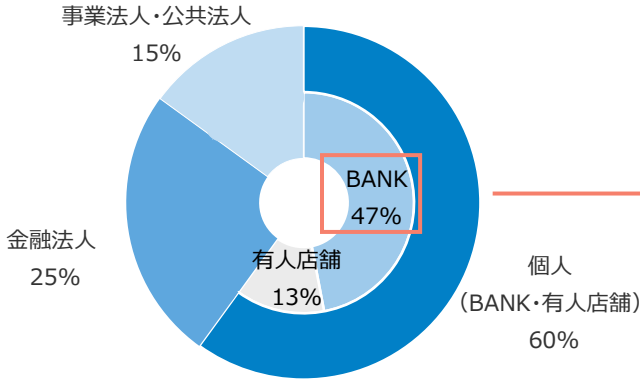
* レガシー資産の評価損益はヘッジ手段（デリバティブ、ベアファンド）を含むベース

(単位：億円)	2024年 3月末	2025年 3月末 A	2025年 6月末 B	増減 B - A
調達（連結ベース）	64,210	62,761	63,788	+1,026
預金・譲渡性預金	57,763	56,729	57,761	+1,032
借入金 *1	4,633	4,786	4,814	+28
社債	1,813	1,246	1,212	-33

- 1
- BANKサービスの充実が奏功し、個人預金は3月末の水準を維持
- 2
- 法人預金は必要調達額とコストを勘案しつつ、柔軟に運営

調達（GANB除く）(A) *2	58,089	53,318	53,511	+193
個人預金（B）	35,608	31,817	32,205	+388
法人預金（譲渡性預金・借入金含む）*1	20,667	20,254	20,092	-161
社債	1,813	1,246	1,212	-33
個人調達比率（B） / （A）	61%	60%	60%	
預貸率 *2	66%	72%	71%	

顧客層別（GANB除く） *2



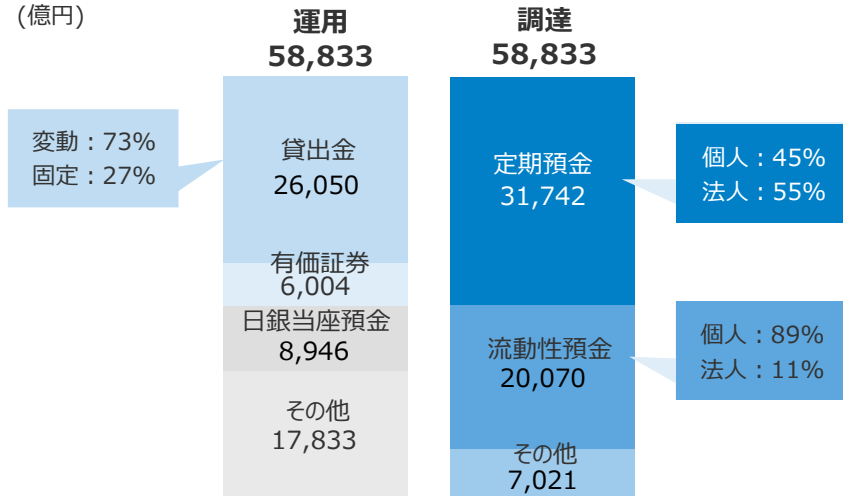
BANK預金内訳

	2024年 3月末	2025年 3月末 A	2025年 6月末 B	増減 B - A
普通預金	75.1%	57.9%	55.8%	-2.1%
定期預金	24.9%	42.1%	44.2%	+2.1%

*1 日銀借入を除く
*2 行内管理ベース

円貨バランスシート（単体ベース）

（億円）



円金利上昇による年間の資金利益影響額（試算）

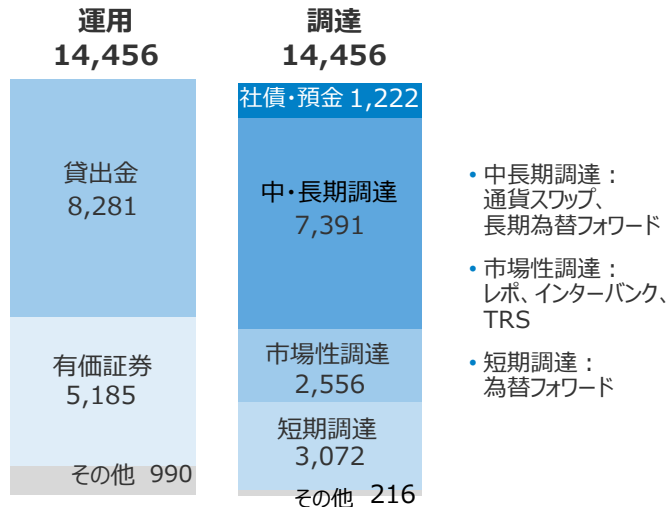
➡ **+29億円**

試算前提

- 全年限において0.25%金利上昇
- バランスシートは2025年6月末から不変
- 預金金利の追随率は75%

外貨バランスシート（単体ベース）

（百万米ドル）

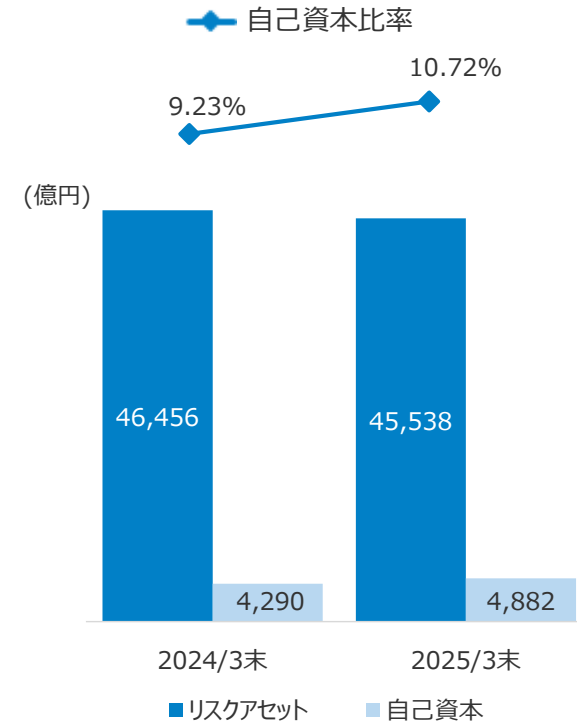


参考：自己資本比率（2025年3月末）

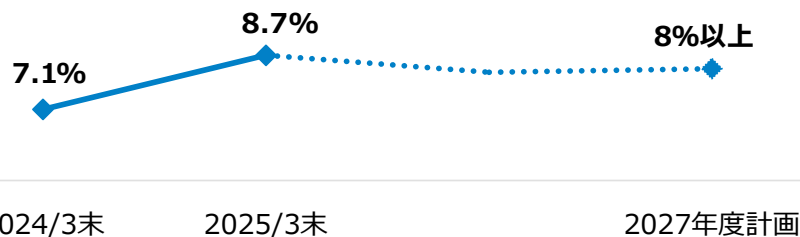
自己資本比率

国内基準*

	2024年 3月末 A	2025年 3月末 B	増減 B - A
(単位：億円)			
自己資本比率	9.23%	10.72%	+1.49%
自己資本 (A - B)	4,290	4,882	+592
基礎項目 (A)	4,675	5,297	+621
株主資本	4,131	4,751	+620
その他	544	545	+1
調整項目 (B)	385	414	+29
リスクアセット	46,456	45,538	-918
信用リスク・アセット	42,731	42,489	-242
マーケットリスク	2,389	1,776	-613
オペレーショナルリスク	1,334	1,272	-62



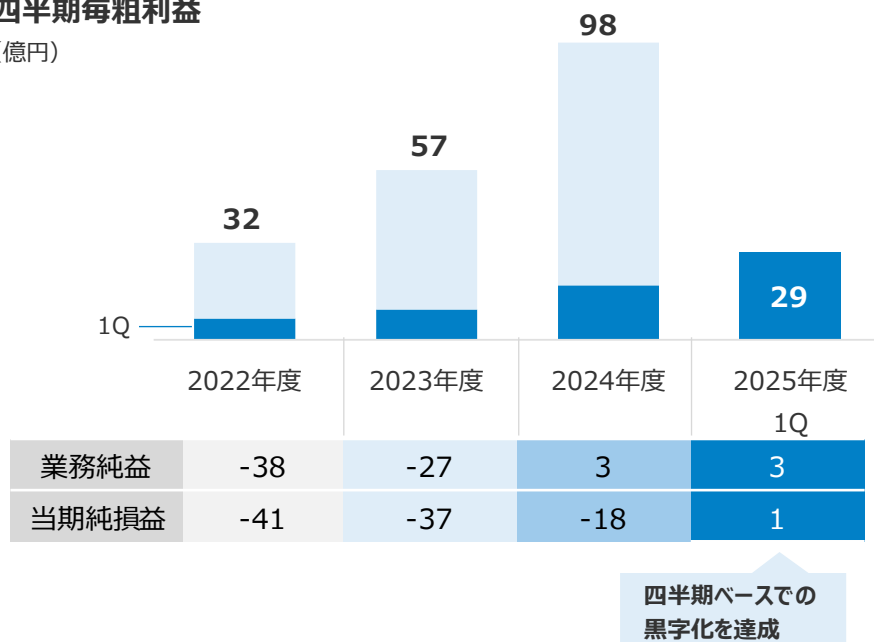
CET1比率*（普通株式等Tier1比率）



* 2025年6月末実績は、2025年8月中旬公表予定

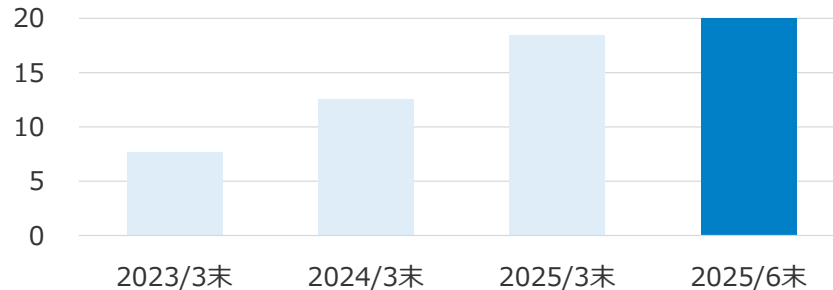
四半期毎粗利益

(億円)



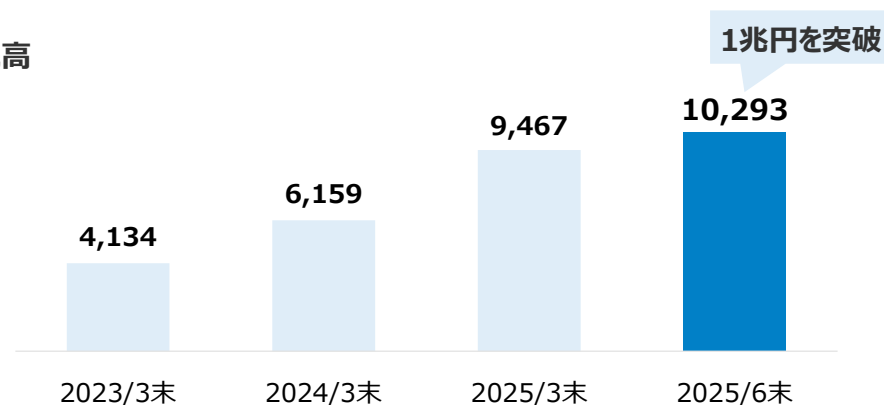
法人口座数

(万件)

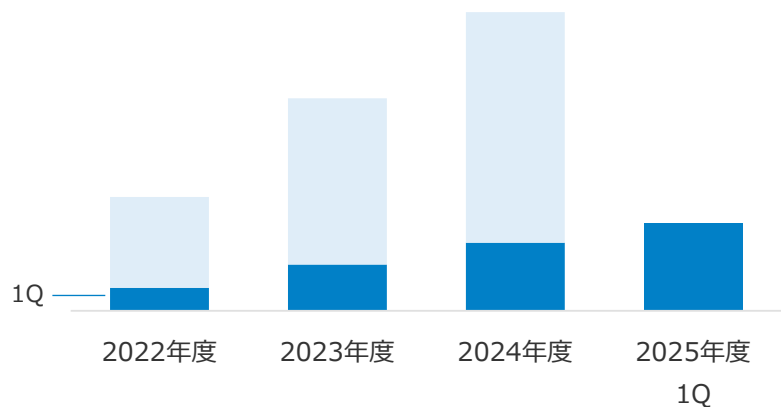


預金残高

(億円)



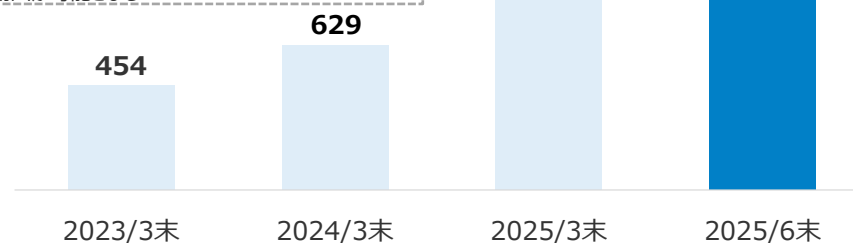
為替件数



BaaS byGMOあおぞら（旧:かんたん組込型金融サービス）契約数累計

BaaS byGMOあおぞら

銀行機能を金融・非金融事業者に提供するサービス。利用企業は、業務効率化や金融サービスの創出が可能となる



参考：当行および主要連結子会社等の実績・連単差

グループ会社

(単位：億円)

A 単体当期純利益	56
B 親会社株主純利益	63
B-A (a+b) 連単差	6

連単差の内訳

a 連結子会社・関連会社				9
	所有割合 ^{*1}	業務粗利益	当期純利益	
GMOあおぞらネット銀行（GANB）	50.0% ^{*2}	29	1	
あおぞら債権回収	67.6%	21	-0	
あおぞら証券	100.0%	0	-2	
あおぞら地域総研	100.0%	0	0	
あおぞら投信	100.0%	5	2	
あおぞら不動産投資顧問	100.0%	0	-0	
ABNアドバイザーズ	100.0%	1	0	
あおぞら企業投資	100.0%	1	0	
Aozora Asia Pacific Limited	100.0%	1	0	
Aozora Europe Limited	100.0%	1	0	
Aozora North America, Inc.	100.0%	11	5	
その他	-	2	-4	
Orient Commercial Joint Stock Bank	15.0%	-	5	^{*3}
b 連結調整				-2
非支配株主に帰属する当期純損益（GANB）		-	-0	
その他		-	-2	

*1 親会社の損益に帰属する割合

*2 議決権所有割合は85.1%

*3 持分法投資損益の取込額

ご連絡先

株式会社 あおぞら銀行

コーポレートコミュニケーション部

電話 03-6752-1218

メール azbk001@aozorabank.co.jp

URL <https://www.aozorabank.co.jp>

当資料には、当行の財務状況や業績など将来の見通しに関する事項が含まれています。こうした事項には当行における将来予想や前提が含まれており、一定のリスクや不確実性が生じる場合があります。具体的には、経済情勢の変化や金利・株式相場・外国為替相場の変動、およびそれらに伴う保有有価証券の価格下落、与信関連費用の増加、事務・法務その他リスクの管理規則の有用性などにより、実際の結果とは必ずしも一致するものではありません。